

## 祝 山形市立宮浦小学校 創立 43 周年

先日、宮浦小に一本の電話がありました。「家の荷物を整理していたら、宮浦小学校落成記念の手拭いが出てきた。是非、宮浦小に持っていきたい」との内容でした。創立記念式での校長講話の内容を思案していた時ですので、渡りに船とばかり、二つ返事で「お待ちしております」とお伝えしました。

手拭いを届けてくださったのは、昭和56年の宮浦小学校開校時、6年生の担任をしてくださった志村幸子先生でした。手拭いは、宮浦小の校舎を西側から、体育館と一緒に描いた図柄で「祝 山形市立宮浦小学校落成記念 1982.2.20」と記されてありました。昭和57年（1982年）1月19日に屋内運動場が完成しましたので、その記念式典で配られたものとのことでした。

また、志村先生は、当時1500人以上いた山十小より、宮浦小に移られたとのこと、当時の学校の様子などたくさんのお話を聞きました。

6月23日を宮浦小への引越しの日と決め、それぞれにイスをもって徒歩で移動しようという計画だったそうです。山十小から真西に続く道が、現在のすみれ保育園の前の道



でしたので、その砂利道を進む予定でしたが、何と、雨が降ってきてしまい、イスは急遽お手伝いに来てくれた保護者の方をお願いし、宮浦小学校に移動したとのことでした。児童、教職員、保護者のみなさんの協力で、引越しが無事終了し、その後の祝賀会のときに、6月23日を宮浦小の創立記念日とすることを決めたとのことでした。

当時はまだグラウンドの整備が成っておらず、砂利や小石の混じる運動場だったのですが、新しい校舎はとともきれいで、これからの学校生活を楽しくしたいと思う気持ちをみんなが持ったとおっしゃっていました。

また、初代校長である鈴木勉校長先生が、「宮浦小学校は、山十小の分校ではない。」と、強くおっしゃられ、移ってこられた先生方も「山十小と同じように、ではいけない。『山形市立宮浦小学校』としての学校教育を、新しく、みんなで作っていくのだ。」という気持ちを強く持ったとのことでした。

屋内運動場が完成したのち、グラウンドやプール、中庭のかっこう園、グラウンドの桜の幼木の植樹など、整備が進み、平成2年にわんぱく山が完成して、ほぼ現在の宮浦小の姿となります。開校以来43年、多くの児童が宮浦小で学び、これまでに3494名の卒業生を送り出してきました。

宮浦小学校の歴史と、当時の先生方、児童の様子をお聞きして、これまで宮浦小を支えてくださった保護者のみなさん、地域の方々、教職員諸先輩方への感謝とともに、宮浦小学校という伝統の一部を担い、次世代へつなぐものとして、恥ずかしくない教育活動を行っていききたいという思いを一層強くすることができました。

現在、宮浦小に学ぶ259名の児童とともに、みんなが笑顔で「明日も行きたい！」と思える学校。児童、教職員、家庭、地域が、心から「いいねえ、宮浦小」と思える学校を作ってまいります。保護者の皆さま、地域のみなさま、これからも宮浦小学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。